

# リモコン

# 工事説明書

## 特に注意していただきたいこと

●ここに示した「△注意」には次の意味があります。

<b>△注意</b>	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
------------	---

●絵表示には次のような意味があります。

⊘	一般的な禁止
---	--------

### △注意

#### 工事をされるかたへのお願い

- リモコンを正しく、安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 作業時は手袋などの保護具を着用してください。けがの原因になります。

- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくてもできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- この工事説明書は工事終了後、必ずお客様にお渡しください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 部品の確認

●梱包されている部品に不足がないことを確認してください。

リモコン (コード長さ3m)	木ねじ (2本)	オールプラグ (2個)	コードクリップ (大)※
ホールプラグ (4個)	丸パッキン	リモコン 工事説明書	

※別売のリモコンのみ

## 別売部品

- リモコンパイプセット (RPS-2)
- 延長用リモコンコード (FEK-5M)

## リモコンの取付け

(裏面へ続く)

### リモコンの取付け上の注意

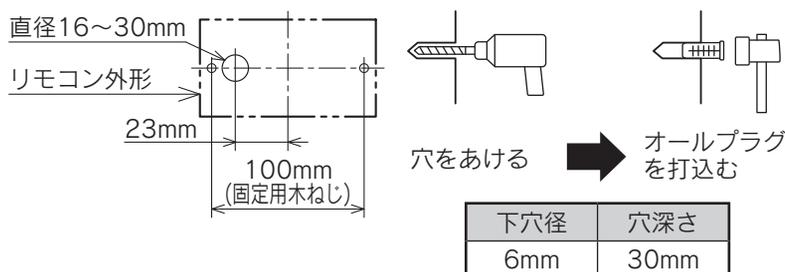
- このリモコンは防水タイプです。浴室への取付けが可能です。
- リモコンは浴室または脱衣所など、浴そうの水や温度が確認できる場所に取付けることをおすすめします。
- リモコンの取付位置は浴そうから200mmの高さが適切です。
- 取付位置は操作が容易にでき、表示がよく見えるところを選んでください。
- 周囲の壁や他のリモコンなどに密着させずに10mm以上離してください。
- リモコンコードが機器の熱気にあたらないように、排気筒の近くは避けてください。
- 直射日光のあたる場所には取付けしないでください。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けしないでください。
- リモコンコードの長さは3mですので、機器とリモコンとの位置関係を充分考慮して取付位置を決めてください。  
別売の延長用リモコンコード(5m)を3本まで接続できます。
- 別売のリモコンパイプを使用する場合、取付可能な壁の厚さは約40~210mmです。
- 壁に穴をあけますので、内部の柱や鉄筋の位置を確認してください。
- リモコンは防水タイプですが、水やお湯が直接かからない場所に取付けてください。
- 浴室に取付ける場合は、水が侵入するため露出配線はできません。
- リモコンコードの長さが18m以内になる場所に設置してください。18mを超える場合は動作保証できません。

### リモコンの取付け

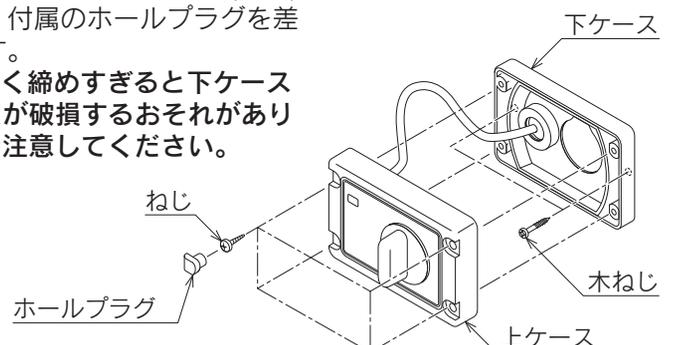
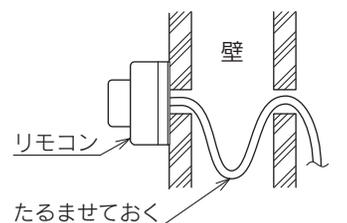
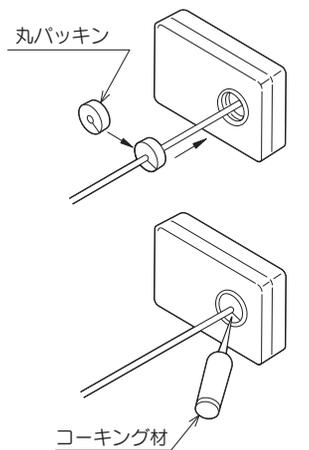
#### 埋込み配線の場合

#### リモコンパイプセット(別売部品)を使用しない場合

- 1.室内の壁にリモコンコードを通す穴(直径16~30mm)をあけます。  
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁の場合は、固定用木ねじの位置に付属のオールプラグを打込んでください。



- 2.室外(機器側)の壁にリモコンコードを引き出す穴(直径16~30mm)をあけます。  
※リモコンコードを通し易くするため、室内にあげた穴と同じ位置にあけることをおすすめします。
- 3.リモコンコードが傷つかないように、穴の周囲をバリ取りします。
- 4.壁のリモコン取付面に付着している切り粉・油分・コーキング(シリコン)などをふきとります。
- 5.付属の丸パッキンをリモコンコードに差し込み、リモコン裏面のねじ穴に押し込んでください。
- 6.パッキンの切目と周囲をコーキング剤でシールしてください。
- 7.壁にあけた穴にリモコンコードを差し込み、室外の穴から引き出します。
- 8.リモコン裏面のパッキンの裏紙をはがし、リモコンを壁に水平に取付けます。
- 9.リモコンの上ケースのねじ(4本)をはずし、下ケースを付属の木ねじ(2本)で壁に固定します。  
・ねじを強く締めすぎると下ケースのねじ穴が破損するおそれがありますので注意してください。
- 10.リモコンコードを静かに壁穴に戻しながら下ケースに上ケースを取付けます。  
・リモコンに水が伝わらないようにするため、壁の中でリモコンコードをたるませてください。
- 11.上ケースを9ではずしたねじ(4本)で固定し、付属のホールプラグを差し込みます。  
・ねじを強く締めすぎると下ケースのねじ穴が破損するおそれがありますので注意してください。



# リモコンの取付け

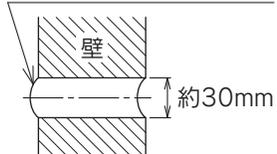
(表面より続く)

## リモコンパイプセット(別売部品)を使用する場合

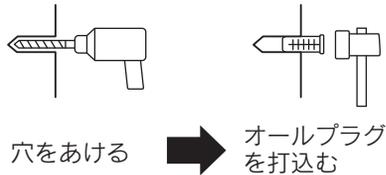
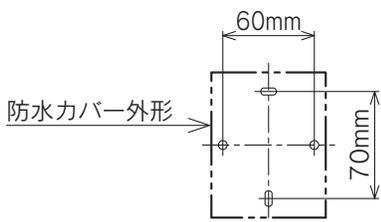
●リモコンパイプの取付け可能な壁の厚さは約40~210mmです。

- 壁に直径約30mmの穴をあけます。  
壁に対して直角にあけてください。  
また防水カバー取付位置を確認し、タイル・コンクリート・モルタルなどの壁の場合は、固定用タッピンねじの位置(上下または左右の2箇所)にリモコンパイプセット付属のオールプラグを打込んでください。

リモコンパイプ差し込み穴



直角でない  
壁厚が一定でない



下穴径	穴深さ
6mm	30mm

- 壁のリモコン取付面に付着している切り粉・油分・コーキング(シリコン)などをふきとります。

- リモコンパイプを壁の厚さに35mm加えた長さに切ります。(ねじ部の長い方を切ってください。)

- リモコンコードにOリング、リモコンパイプを通します。

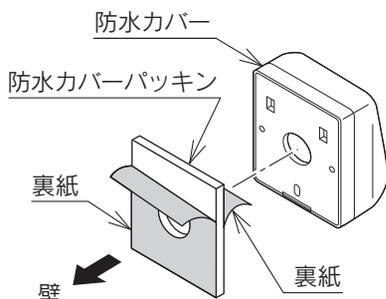
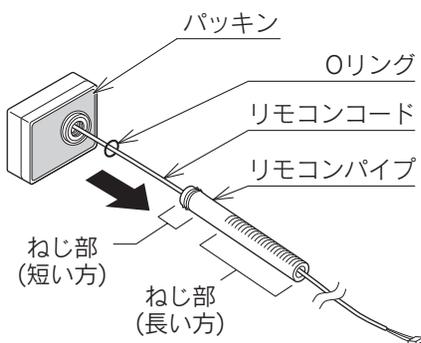
- リモコン裏面のねじ部の奥にOリングをはめ込んだ後、リモコンパイプをリモコンにしっかりとねじ込みます。

- リモコン裏面のパッキンの裏紙をはがし、壁にリモコンコードとリモコンパイプを通して、リモコンを壁に水平に取付けます。

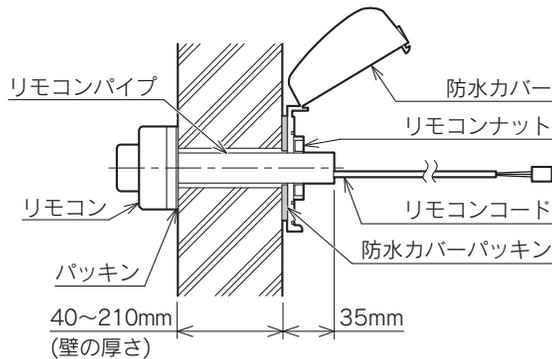
- 防水カバーに防水カバーパッキンを貼り付け、反対側の裏紙をはがします。

- 防水カバーにリモコンコードとリモコンパイプを通します。

- 防水カバーの上下を確認して壁に防水カバーを取付け、リモコンパイプセット付属のタッピンねじ[2本(上下または左右の穴を使用)]で固定します。

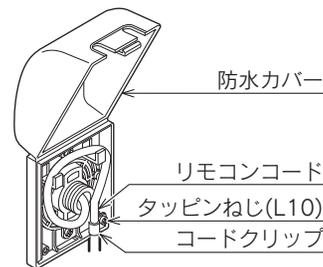


- リモコンパイプにリモコンナットを締めます。



- 取付け後、固定状態を確認します。  
リモコンが動く場合はリモコンナットを増し締めしてください。

- 防水カバーの中でリモコンコードをリモコンパイプセット付属のコードクリップとタッピンねじ(L10)で防水カバーに固定します。

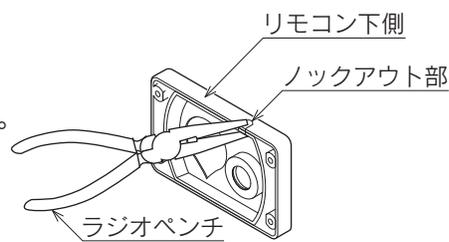


- 防水カバーのふたを閉じます。

## 露出配線の場合

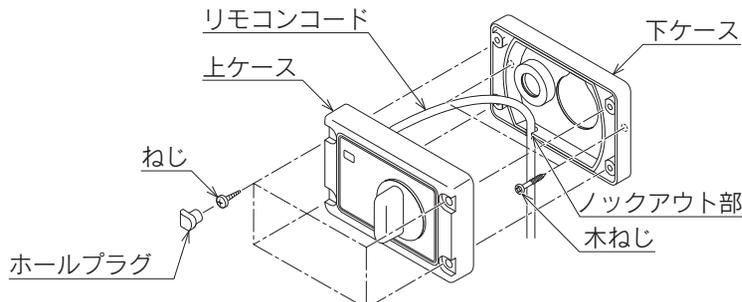
- リモコンの上ケースのねじ(4本)をはずし、下ケースからリモコンコードを抜きます。
- 下ケースのロックアウト部の両側にニッパーで切れ目を入れ、ラジオペンチでロックアウト部を取除いた後、周囲をバリ取りします。

- 下ケースを壁に固定します。  
壁の丈夫な場所(柱など)に下ケースを付属の木ねじ(2本)で直接固定してください。  
・ねじを強く締めすぎるとリモコンの下ケースが割れるおそれがありますので注意してください。



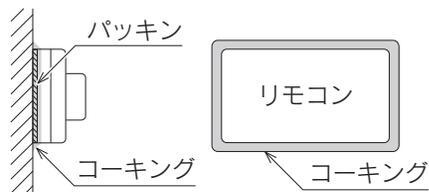
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁にリモコンの下ケースをねじで固定する場合は、付属のオールプラグを打込んでください。(表面の「埋込み配線の場合」の「リモコンパイプセット(別売部品)」を使用しない場合)を参照してください。

- リモコンコードをロックアウト部に納めながら、上ケースを1ではずしたねじ(4本)で固定し、付属のホールプラグを差し込みます。

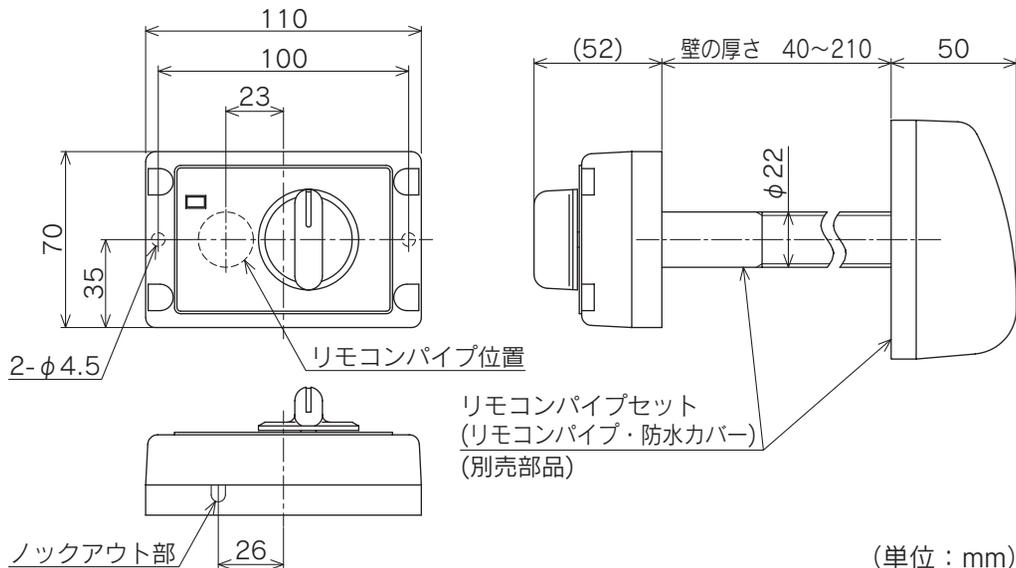


## リモコン周囲のコーキング

●浴室に設置した場合は、リモコンの周囲をシリコンなどでコーキングしてください。  
コーキングをしないとリモコン内部に水が入り、故障の原因になります。



## 外形寸法図



## 機器(バーナー)との接続

●機器(バーナー)との接続は機器(バーナー)付属の「工事説明書」を参照してください。